

長畑ひろのり News vol.123

(C) 2013 Kohama Studio

昨年12月配布の長畑ひろのり News Vol.120において、JR 四條畷駅の「条」の漢字について（内容は漢字の訂正）を報告しました。その後、市民の方より四條畷市の漢字が「條」と「条」の2種類存在する理由を尋ねられましたので、以前にも記事として載せていましたが（2008年の長畑ひろのり News Vol.014）、相当前になりますので改めて報告します。内容は、ほぼ Vol.014 の記事のままとしています。

市名に「條」と「条」の混在する理由

平成15年7月29日に田中市長より、太田府知事宛に提出された文章があります。それを原文のまま引用します。

「四條畷市」の市名表記について（要望）

平素から、市政の運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市は、昭和7年に甲可村から四條畷村に改称され、その後、昭和22年に町制施行、昭和45年に市制施行を経て現在に至っておりますが、その間、南北朝時代から受け継がれた伝統的な地名である「四條畷」を市の名称として用いてきているところであります。

大阪府におかれましては、本市名称の表記に関し、出来るだけ当用漢字を用いる観点から、従前より「四條畷」との表記を用いられているところであり、大阪府の各種例規や府立の保健所、高等学校、警察署などの施設名においては、「四條畷」と表記されております。

しかしながら、地名につきましては固有名詞であり、その表記にあたっては、その地域の有する歴史や伝統を踏まえたものとするのが基本であると考えます。

本市においては、四條畷村設置以来、一貫して伝統ある「四條畷」との表記を用いてきており、多くの市民に慣れ親しまれ、定着しているところであります。

つきましては、以上のような状況をご賢察頂き、大阪府における本市の名称にかかる表記につきまして、「四條畷」を使用頂きますよう、要望いたします。

以上の要望書に対し、大阪府では「四條畷市等の表記の変

更に係る関係条例の整備に関する条例」を制定し、平成16年4月1日より「條」の表記を用いることになりました。それにより、府立各施設の《条》が《條》に変更されました。

次に、私と同じ会派の扇谷議員が議員になる前に、この件について調べられた文章を一部引用します。

・・・聞くところによると、三牧町長（当時）から大阪府佐藤知事（当時）宛に提出された四條畷町を四條畷市とすることについての申請文章では《條》の文字が使われていたようです。

ところが、昭和45年6月3日付けの「大阪府公報」大阪府公告第112号には、大阪府佐藤知事名で「…昭和45年7月1日から北河内郡四條畷町を四條畷市とする。」と、《条》の文字が記載されており、更に不思議なことには、昭和45年6月25日付け「官報」自治省告示第116号には、自治大臣秋田大助（当時）名で「…大阪府北河内郡四條畷町を四條畷市とする旨、大阪府知事から届け出があった。…昭和45年7月1日からその効力を生じるものとする。」と《條》の文字が記載されているのです。

大阪府が四條畷市の申請を受理し、自治省にはそのまま届け出し、大阪府公報には四條畷市と載せたことが《條》と《条》が混在することの始まりと推測されます。

市長の提出した要望書で大阪府の対応が変わった点や、扇谷議員の調べた理由で大筋は正しいと思います・・・〈略〉・・・

また、昭和6年四條畷村に改称した理由には「・・・歴史上有名な四條畷神社を中心とする最も意義有る四條畷村と改称せんとするものなり」（四條畷市史第1巻）とあり、四條畷の地名は、四條畷神社名からが正しいと思われる。



甲可村、四條畷村期の庁舎（大正4年～昭和39年）

毎月発行している「長畑ひろのり News」を、約半年ごとに送っています。送付の必要な方は、送付先を FAX もしくは e-mail にてお知らせ下さい。

長畑ひろのり事務所 FAX 072-877-1280
e-mail sky@nagahata.jp

<http://nagahata.jp>

Instagram

mixi

twitter

facebook

5ちゃんねる



12月定例議会における一般質問

前号までに4点行った質問のうち3点を報告しましたので、今号では残りの1点について報告させていただきます。

・緊急時の避難所について

【長畑質問】今年、避難所をどれだけ開設したのか。

【行政答弁】計3回。それぞれの開設場所及び避難者数として、台風5号は田原小学校及び四條畷小学校でいずれも0人。台風18号は田原小学校及び市民総合センターで順に0人、3人。台風21号は田原小学校、四條畷小学校及び四條畷学園高等学校で、順に13人、52人、10人。

【長畑質問】避難勧告や避難指示がでた時点では相当な雨量であるのは間違い無く、車で避難される方がほとんど。もし車をお持ちでない方が避難されようとした場合でも、荷物を抱えて傘も持って、また、車椅子や杖を利用している等の身体が不自由な方のことも考えれば、タクシーを利用して指定された避難場所へ来られると思うが。

【行政答弁】原則車両ではなく徒歩で避難をお願いしている。時間のかかる方は、避難準備情報が出た時点で避難を頂く。

【長畑質問】水から食べ物全部持って来いと言いながら、車では来るな、これは如何なものと思う。では台風21号の時、四條畷小学校に関しては何人に対応されたのか。

【行政答弁】避難所を開ける開設員1名と避難所班2名の合計3名だが、運営が安定すれば開設員は本部に戻る。

【長畑質問】長い廊下を隔てて体育館とで2人。受付で市民の方から何か聞かれて体育館に行かされると、受付は職員不在となる。逆に体育館で要望などを聞いた後に受付へ行かれたら、体育館には職員が不在となる。避難される方が少ない場合は十分だが、今回のように52人、いや、それ以上の可能性もある時に職員2名体制だと職員自身も不安ではないか。

【行政答弁】避難される方が増えた場合、市の本部職員が応援に行ったりと対応を個別にさせていただきます。

【長畑質問】台風21号の時、田原小学校で実際にあったクレーンは。

【行政答弁】水と食料の提供をしてもらえないか。

【長畑質問】避難所は「災害により家に戻れなくなった場合に滞在するために、市が必要に応じ避難所とし開設する場所です」と本市ホームページや防災マップに書かれているのであれば、市民の方の話も十分わかる。逆に水と食料を用意していない行政がおかしい様に思うが。

【行政答弁】避難所開設時点の本市ホームページに、1日程度過ごせるような食料、飲料水、日用品、その他必要なものを準備して下さいと書いている。また、出前講座で地区に担当職員が寄せて頂き、その中で日常の準備、避難行動の周知啓発をしている状況。

【長畑要望】本市ホームページや防災マップの表面を見たが、物資とか持って来て下さいと書いていない。私としては、もっと市民目線に立った、市民の方がこれでも不安のない避難所のあり方を要望する。しかし、改善が早急にできないのであれば、本市ホームページや防災マップの避難施設の説明も修正した上で、避難所はこう言う場所ですというところを市民の方に周知徹底しなければならないと思う。

【市長答弁】地域防災計画等も改訂していく中で、指摘頂いた点も含め、より市民の方にとって安全安心のまちになるように努めていく。その上で少し述べさせて頂く。台風21号で避難された方が多い日は、前日も含め長い雨が降っている中だった。水防体制を含め連続的に働いている職員が多い中、総選挙の関係で人手を割かなければならない。さらに雨がひどくなった場合、避難所も3カ所以外に開設しなければならない可能性もある。全て総合的に勘案させて頂いた場合に、私が本部長として2名で回すべきことがその時点においては最良であると判断した。その点もご理解頂ければと思う。

インターン生から議員へ質問

本市には昨年の9月19日より男女3名のインターン生が働いています。全員大学の4年生で、京大と神大、同大の学生です。そのインターン生より、議員一人ずつ同じ3つの質問を受けました。内容は本市のホームページにも載る予定ですが、ここでも報告させていただきます（残り2つは次号にて）。

・なぜ市議会議員を志しましたか？

私の場合は珍しいケースかもしれませんが、市議になる前、2006年に市長選挙へ出馬しました。当時、四條畷市は財政破たんが囁かれるほど財政面が厳しく、危機感をもった市民150名ほどで「なわて創成会」が立ち上がり、私が会長を務めていました。次の市長選が迫る中「四條畷はこのままでいいのか」という声が上がリ、私が代表して市長選挙に立候補することになったんです。

当時私が公約として掲げていた「心のこもった教育、愛情豊かな医療・福祉、夢のもてる財政、生活感のある地域の分権、誇りある歴史文化」は、なわて創成会で議論を交わして作り上げたものであり、今でも私の根底にあります。

建築士としての経験も現在に繋がっているのでしょうか？

そうかもしれません。中学生の頃からの夢であった建築に関わる仕事をする中で、自分の住む市のまちづくりに興味を持つとともに、忍ヶ丘駅前開発など納得がいけない部分もありました。このように、多くの人が市政に関して「もっとこうすればいいのでは」と思いながらも市に伝える方法が分からない。それを私が手を挙げて、皆さんのお声を届けようと思いました。市長選に敗れたあとは建設業に戻ることも考えましたが、4年後の市長選挙を見据えたうえで、市民のために少しでも改革を進めていければ、と思い市議を志しました。

